

第18回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 「木工チャレンジコンテスト」新潟県大会要項

1 目的

- (1) 全日中技・家研究会の主催及び文部科学省等の共催による「全国創造ものづくり教育フェア」において、県の代表の作品を公平に出品するための県予選を行う。
- (2) 生徒一人一人が中学校技術・家庭科において学習をした知識と技能などを向上し、木材加工学習への興味・関心の高まり、また、創造する能力を発揮することを目的とする。

2 日程

- アイデア部門 11月30日(木) 作品提出締め切り(各校1作品)
※ 県の審査は行いません。各校で全国の事務局に送って下さい。
- 製作部門 10月20日(金) 申し込み締め切り
10月27日(金) 作品提出締め切り
※ アイデア部門と製作部門の重複出品は可能です。
新潟県大会は、【製作部門】のみ開催する。新潟県内から1点を全国審査へ推薦する。

- ## 3 作品募集
- 10月20日(金) (申し込み締め切り)
10月27日(金) (作品等提出締め切り)

4 県事務局への申し込み方法および提出物

○申し込み書兼参加応募書

<アイデア部門> (11月30日(木) 作品提出締め切り)
全日本中学校技術・家庭科研究会「木工チャレンジコンテスト」web ページ
要項：<http://ajgika.ne.jp/~mokkou/>にて要項を確認の上、メールで申込
提出先：idea.bumon@gmail.com
※ 県の審査は行いません。各校で全国の事務局に送って下さい。

<製作部門> (10月20日(金) 締め切り)
新潟県技術・家庭科研究会 web ページよりダウンロード <http://niigata-gika.jp/>
〒953-0067 新潟市西蒲区潟頭 1493 番地
新潟市立巻東中学校内 担当 福島健一
電話：0256-72-3332 FAX：0256-72-3932 電子メール：j805mhk@city-niigata.ed.jp

○作品等提出物 (10月20日(金) 提出締め切り) 提出先は申込書先と同じ

- ・課題製作品(実物)
- ・県審査用申し込み用紙を印刷したもの(新潟県技術・家庭科研究会 HP よりDL)
- ・製作ビデオ(DVD等)：作業の様子を15分程度撮影したもの
- ・構想図(等角図又はキャビネット図)
(<http://ajgika.ne.jp/~mokkou/>より印刷、または、独自のものでも可)
- ・製作レポート(<http://ajgika.ne.jp/~mokkou/>より印刷、独自作成可)
- ・材料取り図(<http://ajgika.ne.jp/~mokkou/>より印刷、独自作成可)

※メディアは返却しない。製作品は着払いにて返却する。

5 競技内容

与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を木工の技術により解決できる作品を設計・製作すること。ただし、以下の（１）設計・製作条件を満たすものとする（構想作品の例：高齢者又は幼児のため作品、学校作品、学校又は家庭で役立つ作品など）。

（１）設計・製作条件

- ・ 書類または文具類またはその両方（新潟県独自規定）を想定して、個人で設計・製作すること。
- ・ 木製品は、製作時間 150～180 分で完成できること（新潟県独自規定）。ただし、設計・製図の時間は含まない。
- ・ 使用できる材料は、木材あるいは集成材の板（寸法 t15×W200×L900）2 枚と合板 1 枚（t4×W450×L450：数量 1 枚）とする。なお、木材及び木質材料の樹種は自由とする（新潟県独自規定）。これら以外は、接合金具（釘、木ねじ、ボルトナット、ロックダウン金具、補強金具、蝶番）のみ使用可とする。
- ・ 製作品の大きさは、3 辺の合計長さが 160cm 以内とする。
- ・ 製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、くぎ打ちによる組み立て、直角定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。

（２）審査

- ・ 審査会（11 月上旬）を巻東中学校にて行い、県代表 1 名を選考する。
- ・ 県代表者と当該校には、事務局より連絡をし、全国大会の出場の意思を確認し、全国大会 1 次審査に応募することとする。（もし、県代表者が辞退した場合は、審査成績順に繰り上げて出場の意思を確認し、全国大会 1 次審査に応募する。）

6 ビデオ審査の採点基準

項目	内容	評価基準
道具の使い方	○安全 ○管理 ○調整	○安全に配慮して材料の置き方、手の添え方が正しくできる。 ○道具を傷めないように丁寧に扱っている。 ○かんなの調整が正しくできる。 (○制限時間内に作業を終了している)
手順	○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ	○正しい手順で作業を行うことができる。 ○部品検査によって修正が必要な場合、適切に手順を変更して修正作業を行うことができる。 ○下穴を正しく開け、接合・組み立てが正しくできる。 ○見た目をよくするための仕上げを工夫することができる。

整理・整頓	○整理・整頓	○道具・材料を常に整然と整理して作業している。 ○簡単な机上の掃除を行いながら作業している。
-------	--------	---

7 作品審査の採点基準（減点法で採点）

項目	内容	評価基準	
構想図の評価	○構想図が工夫されているか	○課題の寸法が未設定である（各箇所－1点） ○寸法が記入されていない箇所がある（各箇所－1点） ○キャビネット図、等角図の決まりに反した箇所がある（各箇所－1点）	/ 10
		○発想や工夫がなく、使いやすさ（取り出しやすさ等）、創造性（アイデア、作品の形状等）に難点がある。	/ 20
部品の評価	○各部品が設計図通りか	○左右対称、上下対称でない（各箇所－1点） ○直角がでていない（各箇所－1点） ○表面の仕上げが精巧でない（各箇所－1点） ○割れ、ヒビ等、雑な仕上げの箇所がある（各箇所－1点）	/ 20
接合の評価	○正しく接合されているか	○直角に接合されていない（各箇所－1点） ○釘の打ち込みがあまい（各箇所－1点） ○げんのうの跡がある（各箇所－1点）	/ 10
全体の評価	○作品全体とビデオ	○ビデオの評価基準項目をクリアしていない（各箇所－1点）	/ 10
		○設定アイテムがきちんと収納できない ○構造（強度）に難点がある ○板材の組み合わせで無理がある（各箇所－1点）	/ 30

8 表彰並びに上位大会について

【アイデア部門】

- ・審査は、審査委員会が行い、入賞作品3点を選考する。
- ・審査では、構想図、問題解決レポート、材料見取り図、材料表、プレゼンテーションビデオを総合的に評価し、入賞作品を選考する。（ビデオについては、工夫した点や活用場面、作品への思いなどを3分以内にまとめたものとする。）

【製作部門】

- ・新潟県技術・家庭科研究会 会長賞 1名（全国大会へ）、技術賞 1名
- ・会長賞1名の作品は、全国大会に出品する。全国大会は、書類・作品審査を経て各県1名ずつの47名中から14名に絞られ、2次審査の出場権を得る。2次審査は、1月20日の技能（実技）大会に参加し、県審査とは別の課題について、4時間の作業で仕上げる。全国大会の詳細は、<http://ajgika.ne.jp/~mokkou/>にて記載されている。